

6. 九州・沖縄地方で環境保全措置に取り上げられる動植物種

「環境影響評価法に基づく基本的事項等に関する技術検討委員会報告書（案）」（平成 24 年 1 月 17 日公表）によると、環境省令に盛り込むべき内容として、重要な動植物に係る環境保全措置を挙げ、その効果が確実でないものとしている。すなわち、重要な動植物に係る環境保全措置の効果は不確実性が高いため、結果報告書（フォローアップ）の審査に当たっては、特に注意が必要であるとともに、事業者への技術的な助言が必要となる。そこで、環境影響評価法の終了案件で取り上げられている動植物の環境保全措置を整理した。

結論としては、九州・沖縄地方に限定しても、また各県においても環境保全措置が行われる動植物は、メダカ、カヤネズミ、エビネなどが複数件の事例があった以外は、案件によって様々である。事業者及び地方公共団体へのヒアリングでも、動植物についてはすべて専門家の助言が不可欠であるとの回答であった。一方で、それだけ多くの種に関する知見が集積されているとも言える。また、移植・移設、播種、代替地の整備、土砂流出防止対策など環境保全措置の種類には特徴がみられるため、種は異なっても先行事例の知見を有効に活用したい。そのためには、環境省としては、環境保全措置等の結果報告書が後発の事業者にとっての有用な資料にもなるように、内容を充実させるための指導が求められる。さらに、各案件の有用な環境保全措置を整理した資料（事例集）を別途作成していくことも有効である。

（1）環境保全措置に取り上げられた動植物種

九州・沖縄地方の法終了案件（25 件）において、環境保全措置に取り上げられた動植物種を抽出した結果、動物 70 種、植物 54 種であった（表 2.6-1）。このうち、複数の案件で取り上げられていた種は、動物はカヤネズミ（3 件）、アナグマ（2 件）、メダカ（4 件）、ニッポンバラタナゴ（2 件）、オオヤドカリ（2 件）、ヤシガニ（2 件）及びサンゴ類の計 7 種、植物はエビネ（4 件）、ミズマツバ（3 件）、コ克蘭（2 件）、マルバノホロシ（2 件）、カワヂシャ（2）件の計 5 種のみであった。このように、環境保全措置で取り上げられる種は、案件によって様々である。県別にみると、鹿児島県では昆虫類について、沖縄県では貝類など水生動物と植物について、環境保全措置に取り上げられる種が多い。

県別に整理した終了案件で環境保全措置に取り上げられた動植物種は、表 2.6-2 に示すとおりである。

表 2.6-1 九州・沖縄地方で過去に環境保全措置に取り上げられた種数

動物							植物
哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	昆虫類	魚類	その他の水生動物	
5	12	7	10	15	5	16	54

注）環境保全措置の対象となった種や類、群落等であり、レッドデータブック等に掲載される重要な種及び群落には限定しない。

「平成 23 年度九州・沖縄地方における環境影響評価終了案件
フォローアップ調査等業務報告書」より抜粋

表 2.6-2(2) 終了案件で環境保全措置に取り上げられた動植物種

区 分	昆虫類		魚 類		その他水生動物		植 物	
	種名	件数	種名	件数	種名	件数	種名	件数
福岡県 (6件)	シマゲンゴロウ	1	メダカ	2	ヒラマキミジマイマイ	1	ミズマツバ	2
	ヒオドシチョウ	1	ニッポンバラタナゴ	1	オキギセル	1	マルバノホロシ	2
	オオムラサキ	1	カゼトゲタナゴ	1			カワヂシャ	1
							エビネ	1
							ホシクサ	1
							ルリミノキ	1
							セッコク	1
							ミヤコアオイ	1
							ナガミノツルキケマン	1
							オニコナスビ	1
佐賀県 (3件)			メダカ	1			カワヂシャ	1
			ニッポンバラタナゴ	1			シチメンソウ	1
			カワバタモロコ	1			ヒロハマツナ	1
							ウラギク	1
長崎県 (2件)						コイスガラシ	1	
熊本県 (2件)			メダカ	1	オカヤドカリ	1	ウンゼンカンアオイ	1
大分県 (4件)							エビネ	3
							ミズマツバ	1
							コ克蘭	1
							ミズワラビ	1
							ヒョウガキトウキ	1
							ミズネコノオ	1
							ミゾコウジュ	1
							スズメノハコベ	1
							ニセヨゴレイタチシダ	1
							オリズレシダ	1
宮崎県 (1件)							イズハハコ	1
							シュラン	1
鹿児島県 (3件)							ナギラン	1
							コ克蘭	1
							フジツツジ	1
	フタテンナガアワフキ	1					フユノハナワラビ	1
	ウラナミジャノメ本土亜種	1					キエビネ	1
	タテハモドキ	1					マツバラシ	1
	オオゴキブリ	1					ヒメハコシダ	1
ウマノオバチ	1					サワオグルマ	1	
ハルゼミ	1					オニヤブソテツ-ハマビワ	1	
ツマグロキチョウ	1					スタジイ	1	
タイワンツバメシジミ本土亜種	1					キレツトリモチ	1	
沖縄県 (4件)	ヤエヤマミツギリブウリムシ	1	トカゲハゼ	1	オオヤドカリ	2	クビレミドロ	1
	ナガオオズアリ	1			ヤシガニ	2	アダン	1
	ヤエヤマクビナガハンミョウ	1			ヤエヤマアツブタガイ	1	ミヤコジマハナワラビ	1
	コガタゲンゴロウ	1			ヤエヤマヒラセアツブタガイ	1	ハンゲショウ	1
					ノミガイ	1	アカハダグス	1
					ヨワノミギセル	1	ガラビネムチャ	1
					ムラサキオカヤドカリ	1	クサミズキ	1
					ナキオカヤドカリ	1	ヒジハリノキ	1
					サキシマスマエビ	1	インガキカラスウリ	1
					オカイシマキガイ	1	タイワンアシカキ	1
					ムラクモカノコガイ	1	ツルラン	1
					コハクカノコガイ	1	パイケイラン	1
					サンゴ類	2	テツオサギソウ	1
							ヤエヤマクマガイソウ	1
							コウトウシラン	1
							アコウネツタイラン	1
							カワリバアマクサシダ	1
							イソマツ	1
							モクビヤクソウ	1
							ハリツルマサキ	1
						ヤエヤマスズコウジュ	1	
合計(種数)		15		5		16		54
合計(件数)		15		9		19		66
合計 (2種以上)			メダカ	4	オオヤドカリ	2	エビネ	4
			ニッポンバラタナゴ	2	ヤシガニ	2	ミズマツバ	3
					サンゴ類	2	コ克蘭	2
							マルバノホロシ	2
							カワヂシャ	2

「平成 23 年度九州・沖縄地方における環境影響評価終了案件
フォローアップ調査等業務報告書」より抜粋